

芸術祭が始まる

東京藝術大学美術学部絵画科准教授
アーツ前橋チーフキュレーター

みやもと 宮本
たけのり 武典

⑰「桐生の空気感を伝えるには」

「キュレーター」とは、美術館の展覧会を企画立案から指揮する専門職のことですが、私は展覧会のポスターや、チラシ、サイン計画など「展覧会まわり」のデザインにこだわりのあって、企画ごとに起用するデザイナーを変えます。またその際、「いかにも展覧会のポスター」という定型ではない、開催する地域や見てほしい観客の設定にあわせた宣伝制作の工夫を楽しむようにしています。

桐生の重要伝統的建造物群保存地区での東京藝術大学のアート制作は、スタート当時、教授陣が手弁当で学生を連れてきていたこともあって予算がなく、キュレーターの私が自分で構成を考え、キャッチコピーも自分で書き、教え子のグラフィックデザイナーに入稿データを整えてもらっていました。そんなやり方を3年続けたこともあり、この秋に開催するアートフェスティバル「桐生AIR」の宣伝デザイン一

式も、やはり桐生のことを分かっている自分たちで制作しています。

画像は「桐生AIR」ロゴデザイン草案です。文字の上ののっているクシャクシャした線は、桐生の養蚕家が育てた蚕の糸をさまざまな形にしてスキャンしてみた図像です。Artist In Residenceの「AIR」だけでなく、「霧が生まれる土地」に由来する（諸説あり）「桐生＝霧生＝気流」の「AIR」も表せないかと思案中です。

蚕の糸であり、桐生独特の空気感であり、学生たちが手探る描線であり、私たちの思案や歩行の痕跡であり、迷路

のような路地裏であり、この地に絡まりあった複雑な関係性でもあり……。少々読みづらいロゴが、むしろ想像力を掻き立てて面白いのでは、と思っています。

次の才能を育てるフェスティバルですから、決まりきった形ではなく、変幻自在な創造と実験の場でありたい。藝大生たち、桐生で何を生み出せるか？



▲▼「桐生AIR」ロゴデザイン草案



パチリいい顔

桐生っ子

市内に居住する3歳まで(申し込み時)の桐生っ子を募集します。

右の二次元コードから電子申請でお申し込みください。



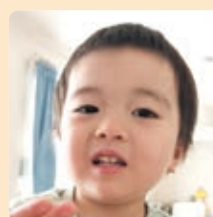
魅力発信課(☎46 - 1049)



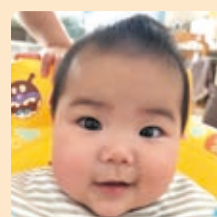
いたばし のあ ちゃん
板橋 乃蒼 ちゃん
2歳6か月



かねこ さわ ちゃん
金子 娵和 ちゃん
6か月



みき はると ちゃん
三木 晴翔 ちゃん
2歳11か月



みき ひまり ちゃん
三木 陽葵 ちゃん
9か月

広告